

□主な内容

【「地球温暖化対策計画(案)」に対する意見募集(パブリックコメント)】

第 34 回地球温暖化対策推進本部でとりまとめられた「地球温暖化対策計画(案)」について、パブリックコメントが行われています。〔意見募集期間:4 月 13 日(水)まで〕

【第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会の開催予定】

来年度は第 6 回地域の交通環境対策推進者養成研修会を仙台市で 10 月頃に開催予定です。(詳細は近日、ESTメルマガ特別号でご連絡します)

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 116 回)

●「路面電車を活かしたまちづくり」

【とよはし市電を愛する会 顧問 伊奈彦定】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 116 回)

●「仙台市における環境負荷低減に向けた公共交通推進の取り組みについて」

【仙台市都市整備局総合交通政策部参事兼公共交通推進課長 若生孝志】

3. ニュース／トピック

●「地球温暖化対策計画(案)」に対する意見の募集(パブリックコメント)について【環境省】

●阪急電鉄株式会社との連携施策について～電車やレンタサイクルの利用を通じた「移動のエコ」を呼びかけるほか、大型ビジョンや駅の店舗等で「COOL CHOICE」の周知を図ります～【環境省】

●「運輸・交通と環境 2016 年版」を発行します【エコモ財団】

●コミュニティサイクルのサービスについて【神奈川県】

●平成 28 年度 JCOMM 賞候補募集について【日本モビリティ・マネジメント会議】

●カーフリーデーアンケート 2015 結果について【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】

●パーソナルモビリティ・シェアリングサービス「Times Car PLUS × Ha:mo」2018 年 3 月末までの延長を決定について【トヨタ自動車株式会社、パーク 24 株式会社】

●「nimoca レール&カーシェア」サービス開始について【西日本鉄道株式会社、株式会社ニモカ、タイムズ 24 株式会社】

●小型電気自動車のレンタル業務を受託【タイムズモビリティネットワークス株式会社】

●世界初バッテリーレス電気自動車と電化道路の試作成功【豊橋技術科学大学、大成建設株式会社】

●パーソナルモビリティ向けのIoT事業を開始【ソフトバンク株式会社、PSソリューションズ株式会社】

●長距離輸送トラックの燃費向上に8000万ドルを拠出【アメリカエネルギー省】

●全国のディーゼルエンジンのクリーン化プロジェクトを助成【アメリカ環境保護庁】

#### 4. イベント情報

●第6回地域の交通環境対策推進者養成研修会【2016/10頃】

●カーフリーデー進歩ジウム～人と環境にやさしい公共交通～【2016/3/26】

●フォーラム「交通政策基本法の展開」(第10回)【2016/3/29】

●第27回ITSセミナーin富山 富山のまちづくりと次世代交通【2016/3/29】

●2016年度第1回自転車活用研究会【2016/4/1】

●京都スマートシティエキスポ2016【2016/6/1-3】

●エコライフ・フェア2016【2016/6/4-5】

●第11回日本モビリティ・マネジメント会議【2016/7/15-16】

#### 5. その他

●ESTパートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

●EST普及推進委員会事務局はTwitterによる情報提供を始めています！

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

●記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 116 回)

●「路面電車を活かしたまちづくり」

【とよはし市電を愛する会 顧問 伊奈彦定】

豊橋市の路面電車は豊橋鉄道株式会社の経営ですが、市民は親しみをこめて「市電」と呼んでいます。創業は 1925(大正 14)年で昨年開通 90 周年を終えました。営業路線は 5.4km で車両数 17 両という小規模鉄道です。しかし、企業努力により戦災による復旧と、さらに戦後のモータリゼーションの波をくぐり抜けてきました。

さて、私ども市民有志はそんな「市電」を支援し、さらに「人と環境にやさしい公共交通機関」として「まちづくりに活かそう」と 1990(平成 2)年に市民 70 名(現在 230 名)で「とよはし市電を愛する会」を結成いたしました。設立の趣旨として「市電」を単なる交通手段としてとらえるのではなく、社会資本や市民文化の面からも大切にしようと、啓蒙運動を展開してきました。具体的には、「見る市電」= 景観としての動く風景の重視。「乗る市電」= 乗車体験と乗車促進。「考える市電」= シンポジウムや講演会開催と他都市見学としました。4 月 10 日を(市電の日)、6 月 10 日を(路電の日)のゴロ合わせ記念日も 25 年間の活動で市民に定着してきました。今日では「市電の日」には愛する会(市民)、市都市交通課等(行政)、豊橋鉄道(株)(事業者)の三者共催で集客力のある沿線ウォーキングなどの行事の企画・実践を展開しています。

ちなみに今までの主な実践例を記してみます。「見る市電」では市民写真コンテスト、小学生市電作品募集、絵葉書セットの作成(5 作目)、絵画カレンダー「市電のある風景」刊行(24 作目)、イベント電車ヘッドマークやラッピングなどです。「乗る電車」では他団体とのコラボで、国際交流電車、川柳電車、レトロ仮装電車、寄席電車、絵手紙電車、歴史探訪電車、90 歳豊橋元気号、ハーフマラソン応援号などの運行です。「考える市電」では、市民向け機関紙「市電文化」の発行(現 52 号)、全国路面電車サミットの開催、中部地区路面電車サミット(豊橋、福井、高岡、富山)持ち回り開催、電停新設運動(実現済)、LRV「ほつらム」導入募金活動(愛する会で 1500 万円+企業等で合計 3500 万円を寄付)などです。

豊橋鉄道の定番風物詩となった「納涼ビール電車」と「おでんしゃ」にも車体ラッピングなど協力しています。豊橋市も県と協力、軌道緑化整備を開始、駅前から 140m 区間がまもなく完了し、環境美化とヒートアイランド現象の緩和をめざしています。(右図参照)



イメージ写真提供: 豊橋市

とよはし市電を愛する会では、市民の声をもとに未来の「LRT ゆめ路線」の作成など楽しい活動もしています。コンパクトシティの実現には、市民・行政・鉄道事業者がお互いのスタンスを理解し協力しあって、公共交通を考えることが大切です。豊橋では路面電車を活かした個性あるまちづくりをめざしています。

---

## 2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 116 回)

### ●「仙台市における環境負荷低減に向けた公共交通推進の取り組みについて」

【仙台市都市整備局総合交通政策部参事兼公共交通推進課長 若生孝志】

仙台市では、将来にわたる持続的発展と環境負荷低減を目指し、市民が暮らしやすさを実感できるまちづくりを進めるため、定時性、速達性に優れた鉄道を最大限に活かし、鉄道にバスが結節する、公共交通を中心とした交通体系の構築に向け、「せんだい都市交通プラン」を平成 22 年 11 月に策定しました。

このプランは、平成 27 年の地下鉄東西線開業を含む、概ね 10 年間に取り組むべき交通施策を明らかにしたもので、少子高齢化や人口減少などの社会状況の変化に対応するため、従来の交通施策の課題を踏まえ、①公共交通の更なる利便性向上 ②都心の交通環境改善 ③市民協働の取り組みによる地域の足の確保 を施策の基本方針とし、現在、各種交通施策を総合的・戦略的に展開しています。

公共交通の更なる利便性向上に関しては、昨年 12 月の地下鉄東西線開業に合わせ、フィーダー化を中心としたバス路線再編、駅舎・車両のバリアフリー化、駅へのアクセス道路整備や駅前広場及び P & R 駐車場・駐輪場の整備による乗継利便性向上、IC 乗車券「イクスカ」のバス・東西線への導入(地下鉄南北線は平成 26 年 12 月導入)、新たな運賃サービスとして東西線結節駅周辺 100 円均一及び地下鉄 200 円均一運賃、乗り継ぎポイントの設定、市バス・地下鉄乗り降り自由な学生フリーパスのバリエーション拡大などを集中的に展開し、昭和 62 年の地下鉄南北線開業以来となる大規模な市域における交通環境の変革に対応したところです。

また、従前から実施している、対象者に併せたモビリティマネジメントや市民参加イベントについても東西線開業や関連施策の PR を市民や企業と協働で展開し、利用促進に努めています。

都心の交通環境改善につきましても、仙台駅において、東西線開業に合わせた駅周辺のバス停留所の集約化や東西自由通路の JR 駅舎との一体的な拡幅整備を行うことにより、ターミナル駅としての機能強化を図るとともに、コミュニティサイクル「DATE BIKE」のポート拡大により都心の端末交通の充実を図ったところです。

市民協働の取り組みによる地域の足の確保につきましては、乗合タクシーの運行支援や地域交通検討への専門家派遣制度活用による支援などを継続的に実施しております。

本市は、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災で甚大な被害を受けましたが、平成 27 年度を最終年度とする事業期間 5 年という被災地では最短の震災復興計画を策定し、全国から多くのご支援をいただきながら、一日も早い復興に向けて各種事業を推進しています。

地下鉄東西線の開業により、南北線と合わせて十文字型の骨格交通軸が完成したことから、今後も、市の進める「機能集約型市街地形成と地域再生」に向けたまちづくりを加速させるべく、公共交通推進の施策に取り組んでまいりたいと考えております。

---

### 3. ニュース／トピック

#### ●「地球温暖化対策計画(案)」に対する意見の募集(パブリックコメント)について【環境省】

環境省では、中央環境審議会・産業構造審議会の合同会合を中心に同計画の検討を進め、第34回地球温暖化対策推進本部(平成28年3月15日開催)にて「地球温暖化対策計画(案)」をとりまとめました。同計画案について、国民の皆様から幅広く御意見を募集することになりました。意見募集期間は4月13日(水)までです。

<http://www.env.go.jp/press/102259.html>

#### ●阪急電鉄株式会社との連携施策について～電車やレンタサイクルの利用を通じた「移動のエコ」を呼びかけるほか、大型ビジョンや駅の店舗等で「COOL CHOICE」の周知を図ります～【環境省】

環境省では、省エネ・低炭素型の「製品」「サービス」「行動」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動「COOL CHOICE」を、関係省庁や様々な企業・団体・自治体等と連携しながら推進しています。この度、阪急電鉄株式会社と連携し、環境への負荷が少ない鉄道の利用や自転車の利用を通じて、「COOL CHOICE」(賢い選択)のひとつとして「移動のエコ」を呼びかけることとなりました。

<http://www.env.go.jp/press/102224.html>

#### ●「運輸・交通と環境 2016年版」を発行します【エコモ財団】

エコモ財団は「運輸・交通と環境」の2016年版を3月28日に発行します。内容は運輸・交通分野の環境の現状、国土交通省などの施策の概要などの紹介で、幅広く環境保全に関する情報を網羅して提供するものです。3月28日からエコモ財団のホームページで電子ファイル版のダウンロード等が可能です。

<http://www.ecomo.or.jp/>

#### ●コミュニティサイクルのサービスについて【神奈川県】

神奈川県県西地域サイクリングエリア等整備推進委員会では、平成28年2月28日(日)からコミュニティサイクルシステム事業実証実験を県西地域3箇所(小田原駅前、新松田駅前、山北駅前)のサイクルポートにおいて開始し、新たに3月18日(金)から開成駅前にサイクルポートを開設します。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/p1003867.html>

#### ●平成28年度 JCOMM 賞候補募集について【日本モビリティ・マネジメント会議】

日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)では、国内の様々なMMについての様々な取り組みや研究の中でも、特に優秀な取り組みや研究を選定し、その実現に貢献した個人

(複数可)あるいは団体(複数可)を表彰する「平成 28 年度 JCOMM 賞」の募集を開始しました。〔募集締切:4 月 15 日(金)〕

[http://www.jcomm.or.jp/11th\\_jcomm/award\\_28.html](http://www.jcomm.or.jp/11th_jcomm/award_28.html)

●カーフリーデーアンケート 2015 結果について【一般社団法人カーフリーデージャパン】  
一般社団法人カーフリーデージャパンでは、毎年 9 月 16 日～22 日に世界的に行われている「モビリティウィーク&カーフリーデー」において、昨年全国 10 都市において開催され、9 都市にてアンケートを実施し、調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/e/9dfe4ca7206befc39a613759f9cf1994>

●パーソナルモビリティ・シェアリングサービス「Times Car PLUS × Ha:mo」2018 年 3 月末までの延長を決定について【トヨタ自動車株式会社、パーク 24 株式会社】

2015 年 10 月 20 日からトヨタ自動車株式会社とパーク 24 株式会社で実施しているパーソナルモビリティ・シェアリングの実証実験「Times Car PLUS × Ha:mo」を、規模を拡大して 2018 年 3 月末まで延長することを決定しました。配備車両数や展開エリアを拡大することから、より実用的な移動手段としての利用が見込まれます。

<http://www.times24.co.jp/news/2016/03/20160315-2.html>

●「nimoca レール&カーシェア」サービス開始について【西日本鉄道株式会社、株式会社ニモカ、タイムズ 24 株式会社】

西日本鉄道株式会社、株式会社ニモカおよびタイムズ 24 株式会社は、平成 28 年 3 月 5 日(土)より「nimoca レール&カーシェア」サービスを開始しました。本サービスは、交通系 IC カード「nimoca」を利用し対象駅までご乗車されたお客様を対象に、カーシェアリングサービス「タイムズカープラス」の利用料金を 206 円優待するものです。

[http://www.nishitetsu.co.jp/release/2015/15\\_152.pdf](http://www.nishitetsu.co.jp/release/2015/15_152.pdf)

<http://www.times24.co.jp/news/2016/03/20160301-2.html>

●小型電気自動車のレンタル業務を受託【タイムズモビリティネットワークス株式会社】

タイムズモビリティネットワークス株式会社では、伊勢市が設立した「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」より委託を受け、3 月 18 日(金)から 9 月 30 日(金)までタイムズカーレンタル「伊勢店」において一人乗り電気自動車「コムス」を貸し出します。

<http://www.timesmobi.co.jp/news/2016/0315.html>

●世界初バッテリーレス電気自動車と電化道路の試作成功【豊橋技術科学大学、大成建設株式会社】

豊橋技術科学大学、大成建設株式会社では、共同研究により電化道路の試作に成功し、ワイヤレス給電で走行する電気自動車の屋外走行実験を2016年3月18日(金)に実施しました。今後は自動車専用道路での実証実験を目指していきます。

<http://www.tut.ac.jp/docs/PR160318.pdf>

●パーソナルモビリティ向けのIoT事業を開始【ソフトバンク株式会社、PSソリューションズ株式会社】

ソフトバンク株式会社、PSソリューションズ株式会社は、日本オラクル株式会社の協力の下、パーソナルモビリティに移動体通信網をつなげるInternet of Moving Things事業を開始します。本事業の第一弾として、香川県小豆郡土庄町豊島において、パーソナルモビリティのレンタルサービス事業「瀬戸内カレン」を2016年3月26日(土)より開始します。「瀬戸内カレン」ではパーソナルモビリティとして電動二輪車「Honda EV-neo(イーブイ・ネオ)」を採用し、ソフトバンクの移動体通信網につながる車載機を搭載します。

[http://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2016/20160318\\_02/](http://www.softbank.jp/corp/group/sbm/news/press/2016/20160318_02/)

●長距離輸送トラックの燃費向上に8000万ドルを拠出【アメリカエネルギー省】

アメリカエネルギー省では、グリーントラック・サミットで、「スーパートラック・イニシアティブ」の第二弾となる「スーパートラックⅡ」を公表し、大型長距離輸送トラックの燃費改善へ向けた研究・開発・実証に8000万ドルを拠出すると発表しました。

<http://energy.gov/articles/doe-announces-80-million-funding-increase-supertruck-efficiency>

●全国のディーゼルエンジンのクリーン化プロジェクトを助成【アメリカ環境保護庁】

アメリカ環境保護庁では、国内の貨物輸送の大半を占めるディーゼルエンジンの排ガス削減を目指し、ディーゼルクリーン化プロジェクトに2600万ドルを拠出すると公表しました。特に大気質が悪い地域のディーゼル排出とディーゼル排ガス曝露を大幅に削減するプロジェクトの提案を求めるとしています。

<https://yosemite.epa.gov/opa/admpress.nsf/d0cf6618525a9efb85257359003fb69d/403f6bb2a8472b9685257f64006cf4cc!OpenDocument>

---

#### 4. イベント情報

●第6回地域の交通環境対策推進者養成研修会

日時:2016年10月頃(3日間)

場所:仙台駅周辺会議室など

主催:EST普及推進委員会、エコモ財団、国土交通省東北運輸局

※詳細は近日、ESTメルマガ特別号でご連絡します。

●カーフリーデー進歩ジウム～人と環境にやさしい公共交通～

日時:2016年3月26日(土)14:00～16:30

場所:神奈川県民サポートセンター 301号室

主催:NPO 法人横浜カーフリーデー実行委員会

<http://www.ycfd.jp/2016/02/post-82.html>

●フォーラム「交通政策基本法の展開」(第10回)

日時:2016年3月29日(火)18:30～20:30

場所:中央大学駿河台記念館(560号室)

主催:人と環境にやさしい交通をめざす協議会(交通まちづくりの広場)

[http://www.yasashii-transport.net/n\\_doc/forum\\_20160329.pdf](http://www.yasashii-transport.net/n_doc/forum_20160329.pdf)

●第27回 ITS セミナー in 富山 富山のまちづくりと次世代交通

日時:2016年3月29日(火)13:00～17:35

場所:富山大学五福キャンパス 総合教育研究棟(工学系) 多目的ホール

主催:東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター(ITSセンター)

<http://www.its.iis.u-tokyo.ac.jp/>

●2016年度第1回自転車活用研究会

日時:2016年4月1日(金)18:00～20:00

場所:ライフ・クリエーション・スペース OVE 南青山

主催:自転車活用推進研究会

<http://cyclists.jp/seminar/20160401.html>

●京都スマートシティエキスポ 2016

日時:(1日目)2016年6月1日(水)10:00～17:30

(2日目)2016年6月2日(木)10:00～17:30

(3日目)2016年6月3日(金)10:00～16:30

場所:国立京都国際会館、けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK) ほか

主催: 京都スマートシティエキスポ 2016 運営事務局

<http://expo.smartcity.kyoto/>

●エコライフ・フェア 2016

日時: (1 日目) 2016 年 6 月 4 日(土) 11:00~17:00

(2 日目) 2016 年 6 月 5 日(日) 10:00~17:00

場所: 代々木公園

主催: 環境省

<http://ecolifefair.env.go.jp/>

●第 11 回日本モビリティ・マネジメント会議

日時: 2016 年 7 月 15 日(金)、16 日(土)

場所: 松山市立子規記念博物館(道後温泉)

主催: 一般社団法人日本モビリティ・マネジメント会議

<http://www.jcomm.or.jp/>

---

## 5. その他

●EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013 年 7 月 16 日から募集を開始し、38 団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

[http://www.estfukyu.jp/partnership\\_gaiyo.html](http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html)

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

[http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon\\_offset/carbonoffset\\_system.html](http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html)

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: [magazine@ecomor.jp](mailto:magazine@ecomor.jp) (担当: 熊井)

=====

発行：環境的に持続可能な交通（EST）普及推進委員会事務局  
（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail\\_ecomo](https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo)

EST ポータルサイト：<http://www.estfukyu.jp/>